

令和6年度 学校経営計画書

2024. 4. 5

学校番号	74	学 校 名	静岡県立浜松湖南高等学校	校 長 名	神村 佳代
------	----	-------	--------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

静岡県西部地区の普通科・英語科を併設した、多文化共生を推進する拠点となる高校として、社会に広く目を向け、異文化理解を推進すると同時に、自己探究と個性の確立を目指す教育を通じて、真理を愛し、国際感覚を備えた社会の有為な形成者として、たくましく未来を切り拓いていく人間の育成を目指す。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
～本校では卒業までにこのような人に育てます～ ①主体的に課題と向き合い、未来を自ら切り拓く人 ②自分を大切にするとともに、他者への敬意を持ち、対話を通して積極的に協働できる人 ③自国の文化に誇りを持つとともに、グローバルな視野を持ち、多様な文化や価値観を尊重できる人	～本校ではこのような教育を実施します～ ①豊かな人間性・社会性を育む教育活動と進路希望実現に応える学力を形成する授業の実施 ②主体性・協働性・問題解決能力の向上を目指した探究学習や地域連携活動の実施 ③異文化・多文化理解を深める国際交流事業や国際理解教育の実施 【英語科】 ④国際化社会で通用する英語力の育成を目標とした様々な言語活動の実施	～本校ではこのような生徒を求めています～ ①基本的な生活習慣や学習意欲を持ち、主体的に高校生活を送ろうとする生徒 ②他者を思いやる心を持ち、協働して問題を解決しようとする生徒 ③目標を持ち、その達成のために粘り強く努力できる生徒 【英語科】 ④英語学習や異文化理解への高い関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 知性の涵養に資する授業づくりに取り組む。
- イ 進路意識の高揚及び進路目標の達成を目指し、きめ細やかな進路指導を推進する。
- ウ 自律の精神により、基本的な生活習慣を確立し、豊かな人間性と社会性を育む。
- エ 心豊かな人生の実現に資する文化的環境の整備に努める。
- オ 授業や行事等を、健康で安全・安心に取り組むことができる教育環境を整備する。
- カ 高い資質・能力を備えた教職員集団であるべく、常に研究・修養に励むとともに、ワークライフバランスの向上に努める。
- キ 積極的な広報発信を通じて、地域に開かれた学校づくりに努める。
- ク 英語教育、国際交流等を通して、生徒のグローバルな視野の育成に努める。
- ケ 関連事業への参画や関係機関等との連携・協働を通じて、生徒の異文化理解・多文化共生教育及び地域と連携した探究学習を推進する。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進し、能動的学習者を育成する	・教材研究や教授法研修の時間の確保 ・ICTを活用した授業実践 ・教員相互による授業参観 ・生徒対象の授業アンケートの活用	・「授業や家庭学習で学力が向上した」生徒 90% ・「授業の中で、自分の考えをまとめたり、周囲と共有したりする機会が多い」生徒 93% ・「授業でICTが活用されている」生徒 85%	教 務 課 研 修 課 情 報 課 各 教 科
イ	低学年から高い志の育成に努め、進路実現を図る	・進路講話、OB 講話、大学出張講義等の実施 ・課外授業、個別指導等進学支援の充実 ・外部模試のフィードバックを基にした細やかな進路面談の実施 ・保護者対象の進路講演会の実施	・1年生で志望分野が決定した生徒 95%以上 ・2年生で第一志望先が決定した生徒 95%以上 ・3年生で1学期中に第1志望に対する研究ができた生徒 95%以上 ・進路情報の提供に満足している保護者 90%	進 路 課 各 学 年
ウ	規律ある生活の中で、自主・自律の精神を育成する	・初期指導（学校生活、学習習慣、スマホ利用等）の徹底 ・朝の登校指導 ・個別面談や学年指導等 ・学校行事、生徒会、委員会活動・部活動の充実	・「積極的に挨拶ができていいる」生徒 95% ・「校則等を守り、高校生らしい服装・行動をしている」生徒 95% ・「学校行事や部活動等に生徒が主体的に取り組んでいる」生徒・教職員 95%	生 徒 課 各 学 年 各委員会担当 各部顧問
エ	読書習慣の定着と読書量の増大、文化的活動の推進を図る	・朝読書、ストーリーテリング、ビブリオバトル、図書館開放、図書館だより、文化講演会、学級文庫の設置	・読書週間 年2回実施 ・図書館開放年 190 日 ・1・2年生の年間読書数平均 10 冊	図 書 課
オ	心身ともに健康で安心して過ごすことができる校内環境を整備する	・不安や悩みを抱えた生徒の支援 ・スクールカウンセラーの活用 ・朝の健康観察 ・定期的な校内の点検及び校内美化の徹底 ・生徒・教職員の安全・安心につながる訓練や研修会の開催 ・生徒防災委員会を活用した防災教育の充実 ・施設・設備の不具合への迅速な対応	・「自分の悩みや不安がある時、それを打ちあける人や機会・場所がある」生徒 90% ・健康観察を通じての情報共有 ・校内の清掃点検において全チェック箇所が良好な状態になっている。 ・「訓練や研修会等によって安全・安心に対する意識が高められた」生徒・教職員 90% ・施設・設備の事故 0 件	保 健 課 総 務 課 各 学 年 事 務 部

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
カ	職員の校内外の研修の充実及びワークライフバランスの推進を図る	・「総合的な探究の時間」「育てたい資質・能力」「ICT 活用」「特別支援教育」等をテーマとした研修の実施 ・事務部職員の研修機会の積極的な活用 ・定時退庁日（月曜日）の実施 ・管理職、課、学年、教科内の業務量削減の取組	・探究学習、育てたい資質・能力、ICT の活用、特別支援教育をテーマとした研修会の実施 年 2 回以上 ・「研修機会を積極的に活用した」事務部職員 90% ・管理職による定時退庁の働きかけ（週 1 回） ・各課、学年、教科の業務量削減の実施（年間 1 件以上）	研 修 課 総合探究課 情報広報課 保 健 課 事 務 部 管 理 職 全 員
キ	地域・中学校・保護者等への広報発信を、計画的・継続的に行う	・行事や部活動等、ホームページの随時更新 ・WEB 学校紹介 ・SNS 等による情報発信 ・文化部展示週間 ・湖南通信、湖南高新聞 ・The Konan Times	・「教育方針・教育活動をわかりやすく伝えている」保護者 90% ・管理職・運営委員による中学校訪問年 2 回以上 ・「教育活動に魅力を感じた」中学生一日体験入学・オープンスクール参加者 96%	教 務 課 情 報 課 生 徒 課 総 務 課 英語学科 全 員
ク	グローバルな視野の育成及び国際交流を推進する	・県事業の活用や関係機関との連携や海外とのオンライン交流の推進 ・姉妹校交流や英語学科語学研修等、学校主催の国際交流・異文化理解教育の充実	・「国際交流事業がグローバルな視野の育成に役立った」生徒 90% ・英語学科の生徒が卒業時までに英語検定 2 級以上を取得する割合 90%	研 修 課 情報広報課 英語学科
ケ	参画と連携・協働による生徒の異文化理解・多文化共生及び地域と連携した学習に取り組む	・地域の小学校や南米系外国人学校等との交流・連携や地域探究学習の充実 ・他団体等が主催する国際交流・異文化理解事業への生徒の参加 ・地元国公立大学との高大連携事業の推進	・「様々な交流・連携事業への参加により異文化理解が深まった」生徒 95% ・国際交流・異文化理解・多文化共生・高大連携事業等への参加希望生徒延べ 250 人	研 修 課 総 務 課 教 務 課 英語学科 総合探究課